MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュー

2017 9月号

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

No. -509

絹谷幸二 色彩とイメージの旅

と き / 8 月22日(火) ~10月15日(日) 9:30AM ~ 5:00PM ところ / 京都国立近代美術館(祝日以外の月曜と9/19、10/10休館) 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

日本の美術界において第一線で活躍している作家の一人である網谷幸二は、1966年に東京藝術大学美術学部油画科を卒業後、同大学院の壁画科へ進学しアフレスコの研究に邁進した。アフレスコの巨匠、ブルーノ・サエッティとの出会いをきっかけに、1971年にイタリアのヴェネツィア・アカデミアに入学し、サエッティのもとでアフレスコ古典画法および現代アフレスコの研究に取り組んだ。帰



「喝破 | 2015年

国後、画家の登竜門と言われた安井賞を歴代最年少で受賞。アフレスコ技法による色彩豊かでエネルギーに満ち溢れた画面によって独自の画風を確立し、2014年には文化功労者に選出された。

本展は、絹谷幸二の初期から現在に至 る代表作を展示するとともに、素描や陶 芸、ガラス作品に至るまで、この画家の



「アンセルモ氏の肖像」1973年 東京国立近代美術館蔵

多彩な活動の全貌に迫ろうとするものである。また本展覧会のために制作した京都を題材とした新作や展覧会初公開作品のほか、絹谷作品の世界観を映像化した壮大な3面スクリーンの作品も出品され、絹谷芸術をご堪能いただけるまたとない機会となる(金曜・土曜:夜間開館午後9時まで)。

特集陳列

生誕130年記念・秦テルヲ

生誕130年を迎えた異色日本画家・秦テルヲ(1887-1945)の特集陳列が京近美 4 Fコレクションギャラリーで開催されている。東京国立近代美術館収蔵の初期素描や『自叙画譜』などを加えて、京都国立近代美術館収蔵の代表作や豊富な作品資料などが一堂に展示されている。〈血の池〉などのお馴染みの名品に加え、近年相次いで収蔵された吉原時代の連作が初公開されているので必見。なおテルヲの師に当る千種掃雲(1873-1944)の作品 8 点が併陳されている。梶原緋佐子の初期作品にも大きく影響を与えた社会派日本画家の、時代を先取りした特異な表現世界も堪能できる。なおコレクション展示室の別コーナーでは、浅井忠、伊藤快彦、鹿子木孟郎らにより創立(1906年)された関西美術院の画家たちの洋画作品が並べられている。

と き / 8月9日(水)~10月22日(日) 9:30AM~5:00PM ところ/京都国立近代美術館(祝日以外の月曜と9/19、10/10休館) 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111



「吉原長巻」第1図 1919年頃 寒冷紗に彩色



「吉原長巻」第4図 1919年頃 寒冷紗に彩色

会場	日曜	1 2 3 金 土 国		11 12 13 14 15 16 17 月 火 水 木 金 土 日	18 19 	9 20 21 22 23 24	25 26 27 28 29 30 10 月 火 水 木 金 土 国					
	2F	伊砂利彦作品展 近衞家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝展										
			祇園祭 – 白楽天山の名宝 –									
	3F	近代京都へのまなざし - 写真にみる都の姿 - **										
- 初	4F											
京都府京都文化博物館			選抜 京都墨彩画壇展 「菊月の墨の彩」	ボタニカルア・ 浅野教室 作品		第28回 光風工芸 「明日へのかたち展」						
中京区高倉通三条上ル 222-0888	5F	絵更紗 美術協会	717写人展 上田ミチョソーイング教室発表会	第22回 森小夜 人形教室展	子	徳田嘉孝作品展	第42回 2017JPS展					
		展	台湾芸術大学大学院生グループ 第5回ハクビ和紙ちぎり絵学院	第20回 小 織物展 志村 門下生に。	ふくみ	第一回桜舞会 AUBE展	2011,110/42					
	6F	長月の会	第33回 文化書道近畿 連合会展			-×玉村咏 二人展	貸展示室(5 F / 洋室・150㎡×4室・6 F / 和室・畳敷 畳×3室、45畳×1室)のご相談は京都文化博物館企 事業担当(075-222-0895)までお気軽にご相談ください	ří .				
	別館	音楽 イベ 音楽 会 ント 会	講演 音楽 会 会	むす美展 音楽 会	音楽会	音楽 音楽 会 会	五葉会 茶花原	美				

		П	1 9 9 4	El	6 7 9 0 10 1	1 10	12 14 15 16 17	10	10 20 21 22 22	194 95	196 97 6	00 20 20 10 /	
	会場	- 曜	金土田月	火	水 木 金 土 圓 月	一火	13 14 15 16 17	18 月	火水木金	日月	火水	木金土里	
	京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111		(3F) 網谷幸二 色彩とイメージの旅 (4F) 特集展示(生誕130年記念秦テルヲ/現代の陶芸 – ヨーロッパと日本展(1970年)より、他										
			(4F) 京博すいぞく	特	来展不(生誕130年ii	上 念秦	ミアルサ/ 現代の陶芸	÷ – š	ョーロッバと日本周	ŧ (1970	牛)より、	1世	
	京都国立博物館		かん										
	京都市美術館	本 館	再整備工事のため、本館閉館中 (別館のみ開館。日展京都展は12月・1月に別館で開催いたします。)										
	左京区岡崎公園内 771-4107 別		第42回 日中友好京都 きりえ展 小関鈴子アトリエLa Clochette作品展		5回 日本水彩展(巡回) 6回 日本水彩関西支部 合同展	第	第70回記念 示現会 京都展		LINK展15		第68回 京都 文化祭書道		
	京都府立	1F	展々展 (日本画)	京都	第47回 写真芸術家協会展	第	第47回 光陽会京都 支部展(洋画)		第36回 蒼林社原 (日本画)	第36回 蒼林社展 (日本画)		回 創紀展 :画・洋画)	
	文化芸術会館 河原町府立病院前	2F	第50回 京都 医家芸術展		ときめき展in京都」 一光と一墨会(書)	日本				第48回 装研会		第22回日本画展きら	
	222-1046	3F					仲々会作品 (洋画)	展				葵会書展 (書)	
	京都府立堂本印象 北区平野上柳町26		当館はリ	リニュ	ーアル工事のため、	2017	年 1 月から2018年春 お知らせいたし			。開館	日は決まり	次第、	
	何必館・京都現代 東山区祇園町北側 5			何	必館コレクション展	・北カ	大路魯山人展-和の	美を	問う				
		画 廊	松﨑和美展 (絵画) - 象群 – 天野裕夫 彫刻展			髙島屋美術部創設 記念	第11回 個	第11回 個の地平		人間国宝十四代 今泉今右衛門展			
企	髙 島 屋 下京区河原町四条下ル		襲名二十周年記 加藤渓山 青瓷				伊藤はるみ展 (日本画)		(洋直	(洋画)		(陶芸)	
<i>→</i>	221-8811	グランド ホール	大和円照寺 山村御流 第34回戸塚刺しゅう展			是			ニSU・TE・KI ! 展		再興第102回 院展		
			いけばな展 作 ^藤 燦々会	+	「1717年の佇い」300年前	in n	ぼくらが日本を - 琳派・若冲 中川周二展		冲・アニメー			Wings	
	大 丸	画廊	農嗣 日本画展	-	人々の生活文化(陶、ガラ	ス他)	(木工)		舟田潤	子展	羽ば7	たく洋画家たち	
	中京区四条高倉 211-8111		果		藤田武志・久美子 漆展		田中芳照洋画		Canday 舟田潤		羽ばフ	Wings たく洋画家たち	
	中 	ミュー ジアム	写真展・オードリー・ヘプバーン 今よみがえる・永遠の妖精・ファッション編										
	中信美術	117-2323	公益財団法人中信美術 設立30周年記念展										
	並河靖之七宝記 三条通北裏白川筋東 7	752-3277		秋季特別展(京都七宝の時代)									
	美術館「えき」K' JR京都伊勢丹7F 3	352-1111	美術館「えき」KYOTO 開館20周年記念 京の至宝 黒田辰秋展 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 10/1										
	会場	- 曜	金土间月	火力	水 木 金 土 圓 月	火	水	围	火 水 木 金 生	10月	火水	8 29 30 10/1 木 金 土 ①	
(F)	アートギャラリー 1 中京区三条河原町東入 221-5		第八回京京展 (日本画) 高場英二個展	3	夏の大4角形 (平面、立体 積層 (平面、立体)	:)	波賀野文子 オオサンショッ オの世界展 第13回 京都大学鉄道研究 写真展 鉄道のある情景	会	Gusto di Masanobu COLLECTI 長谷川純子 作品展	ON	春野	予かそい 書展)エロティシズム-	
	アートスペー 三条蹴上都ホテル隣 7	ス虹	出口朝子 展	;	和田香世個展		申芳礼「黄金線」	K	遊糸(の会「と	:きを掬ぶ.		
	Art Spece ME 中京区寺町竹屋町上ル 7	EISEI			弱 joujou VOL.6 本画・墨・油彩)		経展 日本画4人展					uぞれの情景 – 画 5 人展	
	アートギャラリー・ 左京区岡崎神宮道東側 7	博宝堂	双樹会展 岡本匡史/ 前田初美						 関西美術院の (月曜f				
	綾小路ギャラリ 下京区綾小路高倉東入ル	一武	HU山切大				I		加藤敬 作陶原			メリカン ナペイント展	
	イムラ・アート・ギャ 左京区丸太町川端東入	ラリー								ı	1		
(F)	芸 艸 堂 画 中京区寺町二条下ル 2	廊										型結 10周年展 月を愉しむ	
	会 草 東山区新門前通東山西 !	子					常設展				1		
(F)	延寿堂ギャラリーソ 中京区二条寺町東入 2	フォラ			荒賀文成展(陶器・ (木曜休廊		など)		休廊		恭 ガラン (木曜休廊)		
	中京区二架守町東入 2 御 池 画 北区小山北上総町20-2 4	廊				洋画	面/日本画常設展(E・伊谷賢蔵・池田遙						
		画 廊			14×1+		日本画・洋画常						
		みず	日本画常設展										
	画廊後素	堂		貸画廊受付中									
~	中京区新町丸太町下ル	:31-0938		. 4	A. A. E.								

ホロコーストのトラウマを生き抜いたアーティスト ローズマリー・コーツィ展

と き/9月2日(土)~9月24日(日) 1:00PM~7:00PM

ローズマリー・コーツィー (Rosemarie Koczÿ 1939~2007) はドイツに生まれ、60年 代にスイスで美術を学び、80年代にアメリカに移住した美術家。

前衛的な立体繊維造形の作家として頭角を現し、まずペギー・グッゲンハイムにその才 能を見出された。一方で、震えるような線のストロークで描かれたインク・ドローイング による独特異様な人物像が、ジャン・デュビュッフェに注目され、アール・ブリュットに 近しい創造者としても紹介された。3歳でナチ強制収容所に囚われた悲惨な体験と、その トラウマによって生涯見つづけた悪夢を源泉にした、痛々しくも美しいデッサンは、一万 数千点におよび、彼女はこれらの作品すべてに「わたしはあなたたちに経帷子を織ってあ げる」と名付けた。

見る者の心に鋭く深く突き刺さってくるそのイメージは、過去の戦争の惨禍の追想では



木彫レリーフ 1996年 46×35cm



毛筆デッサン 1985年 67×49cm

ところ/ギャルリー宮脇 (月曜と9/10、17休廊) 京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321



ペンデッサン 1992年 43×35cm

日本初個展から8年ぶりとなる没後十年の追悼展で、アクリル・ペ インティングの大作、木彫レリーフ、パステル画、インク・ドローイ ングを出品し、技法を横断しながら一貫した衝動によって織り上げら れたローズマリー・コーツィーの創造活動を概観する。

記念パンフレットを刊行。単行作品集、関連図書も販売。

なく、生涯にわたって彼女の心を震わ

せ続けた「現在」であった。私たちが

ここで体感するのは、美術作品から直

にリアルに発せられる衝撃だ。

ギャラリー白川・ジャパニーズ・モダン 江戸から現代へ(7) 栗本夏樹 漆造形展

と き/9月2日(土)~9月26日(日) 12:00~6:00PM ところ/ギャラリー白川(月曜休廊)(東山安井信号東入ル南下ル) 京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

私は今まで、車のボンネットや紙管、流木、石など、様々な物に漆を組み合わせて作 品を制作してきました。漆木の樹液である漆は、動物の血液のような役割を果たしてい ます。命そのものである漆の樹液を古紙や古木に注入すると、若木のように蘇ります。私 は、漆のそのような力を「漆・生命の再生」という言葉で表現し、制作のテーマとしてき ました。今回は、中国や日本で古来より親しまれてきた瓢箪と漆を結びつけたアートを提 案します。中国では、瓢箪の内部に精霊が宿る別世界があると考え、瓢箪を「宇宙」とい う器の象徴だとする考え方があります。漆も瓢箪も人間が約一万年前から利用してきた自 然素材です。私の感性と漆と瓢箪が渾然一体となり、生み出された作品にアートの精霊が 宿ることを強く願っています。 漆造形作家 栗本夏樹



ひょうたんからゲンコツ 2017

現在 京都市立芸術大学美術学部漆工研究室 教授 〈コレクション〉

ボストン美術館 (U.S.A.) / ヴィクトリア&アルバート美術館 (ロン ドン, U.K.)/フィラデルフィア美術館(U.S.A.)/ミネアポリス美術館 U.S.A.)/大分県立美術館/中央美術学院美術館(北京、中国)/豊田 市美術館(愛知)/啓明大学美術館(大邱、韓国)/拓福美術館(福州、 中国)/京都市立芸術大学 芸術資料館/京都文化博物館



ひょうたんパワー「阿」「吽」



音を奏でる色(4点組作)2017

開廊30周年記念企画Ⅱ

司 修一水上勉マンダラ展

《水上勉マンダラ》と題して作家水上 勉さんの魂に向けて描いた。だが、マンダライメージの形成は、ユングの『個性化とマンダラ』によるところが多い。

(司 修)

司 修(つかさ おさむ)

1936年 群馬県前橋市生まれ。中学卒業後、独学で絵 を描き始める。

> 自由美術協会会員を経て、'64年主体美術協 会の創立に参加('90年より無所属)

1986年 池田20世紀美術館で〈司修の世界〉展。

2003年 「犬」(『影について』所収) で川端康成文学賞。 日本橋三越他で朝日新聞社主催「司修挿絵展 - 小川国夫『悲しみの港』」。

第36回安井賞審査員。

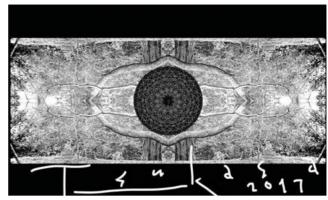
2007年 『ブロンズの地中海』で毎日芸術賞。

2008年 「両洋の眼展」で河北倫明賞。

2011年 群馬県立近代美術館で「司修のえものがたり - 絵本原画の世界」開催。

『本の魔法』で第38回大佛次郎賞。

2016年 第26回「イーハトーブ賞」受賞(花巻市主催) 『戦争と美術』『語る絵』『絵本の魔法』『孫文 の机』等の評論、『まちんと』『河原にできた 中世の町』『雨ニモマケズ』他絵本、『風船乗 りの夢』『壊す人からの指令』他の画文集等、 と き/9月5日(火)~9月17日(日) 12:00~7:00PM ところ ギャラリーヒルゲート1F・2F〈9月11日(月)休廊〉 京都市中京区寺町通三条上ル **20**75-231-3702



「水上勉曼荼羅」リトグラフ

「司さんは私にとって数少ない親友だ」生前、水上勉先生が私 におっしゃった言葉です。

司先生の魂から水上先生の魂に向けて描かれた「曼荼羅」の世界をどうぞご高覧下さいませ。 (ヒルゲート)

講演「画家と詩人の生きた二つの道」講師:司修 夜話講座Bコース

9月8日(金) 6:30PM~8:00PM

ギャラリーヒルゲート1F/定員40人要申込/参加費1,000円 (学生500円) 茶菓付

はっ・とび 展

著書多数。

と き/9月16日(土)~9月24日(日) 10:00AM~5:30PM ところ/ギャラリー鉄斎堂(会期中無休) ☎075-531-6164 京都市東山区新門前通東大路西入ル梅本町262

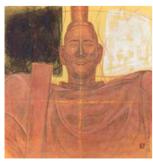
2年ごとに開催させて頂いている『はっ・とび展』も、今回で8回目を迎えます。

「はっ・とび」とは「はっ」という意気込みで今より1段上に跳ぶ、と言う意味が込められています。

今回はメンバー各自が出品作品の中に旧作品 1 点と、それと同じ題材で取り組んだ新作品の 2 点を並べて展示します。どれくらい跳べたのかをご覧いただき、ご感想などいただければ幸いです。

出品作家

伊藤髟耳、石村雅幸、小田切恵子、木村惠子、杉山 紅、高田峻典、野崎和弘、林 克彦、安惠隆司



木村惠子「信長公座像」10号



林 克彦「髟耳さん」30号



小田切恵子「何も着たくない」



安惠隆司「六角堂」150号

春野かそい書展 一死のエロティシズムー

と き/9月27日(水)~10月2日(月) 11:00AM~6:00PM ところ/アートギャラリー北野1&2F

京都市中京区三条河原町東北角 ☎075-221-5397

春野かそいは、非常識実験書家。20数年来、書の実験を続けている。

今回は、新作20点余と旧作20点余を発表。新作は母の供養のために書かれたものである。おもに死の字が書かれている。制作は、死を知るための旅であり、一字一字はその旅の足あとのようである。

旧作は過去25年間の作品から選ばれた支離滅裂なものである。

作者は、老人だが、書についても、芸術についても、人生についても、たしかな事は何一つ解っていないようである。



夢みる小鳥〈鳥〉 2001年



母の肖像3(愛) 2015年



回帰2(部分) 2017年

美術館「えき」KYOTO開館20周年記念 京の至宝・黒田辰秋展

と き/9月2日(土)~10月9日(月) 10:00AM~8:00PM ところ/美術館「えき」KYOTO(会期中無休) IR京都駅IR京都伊勢丹7階隣接 ☎075-352-1111

1904 (明治37) 年京都・祗園に生まれた黒田辰秋は、河井寛次郎の講演に感銘を受けて、河井や柳宗悦らの民藝運動に参加。1929 (昭和4) 年に上賀茂民藝協団を組織し活動。1968 (昭和43) 年には皇居新宮殿の拭漆樟大飾棚、扉飾、机、椅子、卓を制作。1970年には木工芸における初の重要文化財保持者(人間国宝)となった。

漆や螺鈿で仕上げた茶器などの小品から、椅子や飾棚など力強い大作まで幅広く木漆の仕事を展開し、極めて独創的で、造形力に富んだ傑作を多数残した。国内はもとより、ドイツで個展が開催されるなど、国内外の注目を集めてきたが、京都においては本展が初となる本格的な回顧展である。

今も京都では黒田の木工作品が散見される。京都大学北門前のカフェ「進々堂」店内のがっしりしたテーブルセットは現在も学生たちに愛されている。祗園の菓子舗「鍵善良房」店内の重厚感のある大飾棚や、「河井寛次郎記念館」の表看板の彫りなども黒田の手によるものだ。志賀直哉や白州正子ら著名人に愛好され、映画監督・黒澤明などから依頼を受けて家具を製作したが、彼の仕事の源泉には、「京都」を舞台に深められた数々の出会いと交流



工房の黒田辰秋



「乾漆耀貝螺鈿飾筐」 1972年 個人蔵



「金鎌倉四稜錬捻茶器」 1976-70年 北村美術館蔵

本展では、20代で影響を受けた河井寛次郎や柳総悦 との出会い、京都の注文主との交流を辿りながら、晩 年に至るまでの黒田辰秋の歩みを約90点の作品ととも に紹介する。

「おまえは、何になりたい?」そう問いかけながら、素材素材の美しさを生かすため。木を削り、彫り、漆を塗り、貝を貼る。素材と対話し、自然のありのままの稜線や文様に、いかにして近づくことができるかを終生探求し続けた黒田辰秋の、至高の作品群を堪能していただきたい。

があった。

吉村尚子陶展「生きていくもの」

と き/9月8日(金)~9月20日(水) 10:00AM~6:00PM ところ/京都陶磁器会館(木曜休館)

京都市東山区東大路五条上ル ☎075-541-1102

赤土でつくった動物の顔に、色とりどりの色が塗り込められ…南米のマヤやアステカの祭祀の道具みたいだな…これが吉村尚子の作品を最初に見た時の感想である。

凶暴なかわいらしさと生命感あふれたその造形は、伊賀という土地からくるものなのだろうか。伊賀焼も火の試練をかいくぐって生まれる力強さと大胆さが魅力だが、吉村の作品にもそれを思う。プリミティブで今にも動きそうな力を宿した動物たち。大地に根差したような力あふれる形が、吉村の大きな魅力である。

どの作品からも、彼女が無我夢中で作り上げた手の跡や、筆の後…制作の軌跡が感じられ、一緒に土を練り上げているような気持にとらわれる。是非、こどものような心境に戻って、彼女の作品をお楽しみいただきたい。

- 1980 三重県伊賀市生まれ
- 2005 大阪芸術大学 修士課程造形表現修了
- 2007 伊賀市に工房を作る
- 2008 「吉村尚子 陶展 -流動する線- (伊賀)
- 2009 「女流陶芸3人展」 出店(滋賀)
- 2010 LIFE STAGE Piare「陶器銅器展(二人展)」出展(神戸)
- 2011 KOBO Gallery「Simple Cup展」(シアトル2011/2012) やきものマルシェ 阪急うめだ本店 naomitu studio(大阪)
- 2015大丸京都 アートサロンESPACE KYOTO 吉村尚子・濵田光紀 作陶展 (京都)紅椿それいゆ 村尚子展 個展「Tales of clay」(京都/2013/2014/2015)

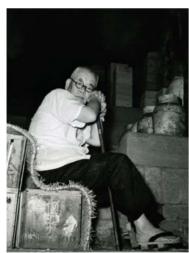
2016 Gallery佑 尾花友久·吉村尚子·濵田光紀 陶展 (名古屋)



何必館コレクション

北大路魯山人展―和の美を問う-

と き/6月27日(火)~9月24日(日) 10:00AM~6:00PM ところ/何必館・京都現代美術館(月曜休館 但し9/18は開館) 京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311



北大路魯山人 鎌倉、星岡窯にて 1953年

何必館・京都現代美術館では「何必館コレクション 北大路魯山人展 – 和の美を問う – 」を開催中です。陶芸のみならず、書、篆刻、絵画、漆芸、金工など、分野を超え異才を発揮した独創の芸術家、北大路魯山人。

本展覧会では、当館コレクションの中から厳選した作品約100点を、初公開の作品も含めて「陶」「書」「茶」「花」「食」の5つのテーマに分け、今回は特に、古材、更紗、根来など、取り合わせにも工夫を凝らし、全館を使い展観いたしま

オ

生涯をかけて「和の美」を追求した北大路魯山人のこれまでにない充実した展覧会になります。また、展覧会を記念して『和の美を問う 北大路魯山人』を刊行いたします。

○記念出版『和の美を問う 北大路魯山人』 3,240円



「双魚絵平鉢」1935年



「閑林」1954年

	会場曜	1 2 3 4 金 土 🗐 月	5 6 7 8 9 10 火水木金土 🗊	11 月	12 13 14 15 16 火水木金土	17 18 	3 19 20 21 22 23 24 人 水 木 金 土 田	25 月	26 27 28 29 30 10/1 火水木金土田		
	画 廊 た づ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展(日祝休廊)									
(f)	ぎおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717						墨彩画展 (水墨画・石仏の観音) 黒岩豊隆		LA VENERE 新作展 佐藤江里子 竹村裕美		
@	ギャラリー梧桐 左京区岡崎南御所町40 752-2058						777 9-1 355 ESS				
P (1)	ギャラリーM 中京区蛸薬師高倉西 221-0979		阿波踊りと風の盆を 松本祐佳	描。	腊く展 中国黄山をゆく「旅を絵にする」祐佳著』 松本祐佳						
	ギャラリーカト 1F 中京区寺町御池下ル 231-7813 2F		クラマ画会 OB会展		鈴木吉子個展		青いトマト洋画展	第7階 RUA えんじ展			
@	ギャラリーかもがわ 上京区堀川出水西入 432-3558										
(f)	ギャラリー祇園小舎 東山区四条通縄手東入 551-3828	墨彩で見る 拓本展	第6回ボタニカルアート 植物画三人展		秋のおし 着物!		方子平 水墨画展		同志社大学スケッチクラブOB S39年卒有志スケッチ展		
(f)	ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955		西野健一 任書煌 能面展		-	第二日曜写生会 作品展			龍谷大学写真部 新人展		
@	ギャラリー Create洛 中京区丸太町通堺町角 708-7898	磯部隆個展 (洋画)	鈴森隆弘展 (洋画) - 地平線のある風景 -		福井タマヱ展 (水彩画) -グレーに魅せられて-		岡本季芳展 (日本画)		柏倉淑子展(洋画) - 想いを描く-		
	Gallery G-77 小川通丸太町下ル 090-9419-2326	土田泰子 個展"TO"									
企賃	ギャラリーK 中京区寺町二条下ル西側 255-7518		秋の絵画コレクション展 (木金休廊)								
資企	ギャラリー恵風 1F	比佐水音 展(平面)	浅野真一展(三	平面) (月曜休廊)		川端千絵展(版画)		小川恵漆展		
3 0	左京区丸太町東大路東入 771-1011 2F		学大学院(月曜休) + 版画コース交流展 5 6 7 8 9 10	11	林哲夫展(平面)(月曜休) 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22			25	村田眞子展(陶芸)	<u> </u>	
	会場曜	金土田月	火水木金土 🗎	月	火水木金土	日 日 月	火水木金田	月	火水木金土田		
	ギャラリー佐野 中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767	展示のご相談受付中 次回展 10月3日 (火)「静寂の南部鉄」Part 2									
	ギャラリー三条祇園										
<u>^</u>	中京区寺町通御池上ル 221-6401 ぎゃらりい思文閣										
<u>^</u>	東山区古門前大和大路東入 761-0001 ギャラリー白川 東山安井東-筋目南 532-2616		ギャラリー白川・ジャパニーズ・モダン 江戸から現代へ(7) 栗本夏樹 漆造形展(月曜休)								
(P)	ギャラリー 翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154	ワン・ニャン展 川原崎純子 作品展 第・用・要・美 京都大学							学美術部 秋展・新人展 ル・水彩他) (25日休廊)		
P (ギャラリー16 東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238	佐々木昌夫 展「異郷の 金属」	「人長果月展」(インタ (月曜								
	ギャラリー創中京区河原町御池上ル 251-0522		"	井ヨ	常設 冷・熊谷守一・伊藤		白隠慧鶴 他		1		
(1)	ギャラリー象鯨 中京区姉小路柳馬場東 253-0738		常設展 (貸ギャラリー受付中)								
(f)	ギャラリー Little House 下京区室町四条下ル 090-9977-1559	匠の建築家展	天使♡ときめる	<u>₹</u> ♡	恋♡アロマ展	幻想ノ祭典		京都美術大学交流展			
	ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164	常設展(鈞	快斎・栖鳳・不矩 etc.の (6・9日休廊)	抽・	額・道具)	はっ・とび展 (会期中無休)	常設展(28・29日休 (近代絵画・道具他				
	ギャラリーなかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632	木村克朗展(洋画) (月曜休廊)								→10	
@	ギャラリー中井 中京区木屋町三条上ル 211-1253	第11回 楽しい彫塑α展	98陶芸会 作品展 (20周年記念)		奥田耕司展				玄正会 日本美術協会 第2回能面花心展		
	ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427	白崎信子ガラス作品展									
P A	ギャラリーヒルゲート 1F 中京区寺町三条上ル 231-3702 2F	大森啓 長谷川宏美		開廊30周年記念企画 Ⅱ 司修 - 水上勉 マンダラ展			古野恵美展 (ミクストメディア)		第6回湫画会展 ENNEN FACTORY		
	ギャラリー美楽堂	二人展									
-	東山区神宮道三条上ル 761-9710	다 꾸면 II IXX									

『短信』 京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (http://www.kyoto-art.net/) では、 すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

						a						
	会場曜	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 金 土 田 月 火 水 木 金 土 田	11 12 13 14 15 16 1 月 火 水 木 金 土 ①	7 18 19 20 21 22 23 24 1	25 26 27 28 29 30 10/1)						
	ギャラリーマロニエ 3F	高野博揮展(陶芸)	重森陽子 (陶芸)	重森陽子 (陶芸)	吉原和恵 (平面)]						
貸企	河原町四条上ル東側 221-0117 5F	夏期休廊 加藤明子展(木彫) 稲本紗希・山本品穂展	彫刻 tomorrow(彫刻	小川宣之(陶芸)	小川宣之 (陶芸)	-						
	ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997	(ミクスト・メディア) 冷泉貴実子 油絵展	花夢展	J) MAN COMOTION (MAN)	松本眞那和 油彩·水彩展	_						
@	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	東北の 事北の 手わざ展 陶芸グループ 土詩展 2017 in kyoto	河井	- 一喜・陶展	色エンピツ・水彩 グループ展							
	ギャラリー洛中洛外	陶芸作品常設展示										
	山科区清水焼団地内 595-5450 ギャラリー龍馬			-								
	河原町三条下ル東入 211-7700 ギャルリー正観堂	夏期休廊	(水曜休廊) 常設展〈大道正男(陶)・中野弘彦(絵)etc.〉									
	東山区切通新門前上ル 533-4110 ギャルリー宮脇	没後10年/ローズマリー・	コーツノー屋(死も初き)	(水曜休廊)		-						
	中京区寺町二条上ル 231-2321 ギャルリー百音(もね)	没後10年/ロースマリー・	秋の茶道具&絵画・			-						
企賃	左京区岡崎神宮道東側 708-2138	Thursday	(4·11·25 E 第16回		大人のこども会展	-						
	ギャリエ ^{1号館} 2F	(本城好一·西村育子·下林幸子·名務杏子) 第37回		原画展(湯浅基子)	(同志社大学OB)	-						
P	ヤマシタ 中京区寺町三条上ル 1F	精秀展 第6回 水彩画仲間展	遠藤乾翠の個展	HILOKI個展scene7 無彩美 体展/滴游会一門展 游scene2	笑ってごらん (書道)	-						
	231-6505 2号館 2F	風景絵画展	・ 乾翠のこんにったⅥ展(第6回 墨林京都の なかま展(書)	3/	HM-H-WA							
P C	京都ギャラリー		貸ギャラリー	受付中								
	京都芸大ギャラリーアクア	東アジア文化都市2017京都 アジア回廊 現代美術展 特別連携事業 (同時開催展)										
(E)	中京区御池通堀川東入 253-1509			」(4·11·19·25日休館)		1 10/1						
	会場曜	金 土 国 月 火 水 木 金 土 国	月火水木金土	7 18 19 20 21 22 23 24	月火水木金土॥)						
(£)	TAKEE SASKOT IN THE 1888	建築 Symposium	東アジア文化都市2017	京都アジア回廊現代美術展		10/1						
	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	京都番組小学校史入門 – 創設150周年へカウントダウン – (水曜休館)										
P C	京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	清永安雄「思い出の欠片(かけら)」	現代写	写真家作品展(貸しギャラリー	-受付中)							
	京都陶磁器会館 15	森本真二陶展 - 酒器からうつわへ -	(木曜休館)	ひろっ	すえたかこ陶展 circle (木曜休館)	10/4						
•	東山区東大路五条上ル 541-1102 2F	1	一陶展「生きていくもの」 立山の風にのって	(木曜休館)	張義明陶展 ~天空~	→10/1						
登企	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	初音学区 森澤保賢と写真仲 文化作品展 間達展	ヤマトアートカレッシ 認定講師作品展	雲の会 写真展								
登 企	T 水色 外 号 岡 / 1 / 1 / 2 10 0000	休廊 cta 字川の写真展	申泰洙水墨画展	大泉讃 土陶展	和工房包結展 森田江里子							
(F)	里 見 有 清 堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	貸画廊受付中										
	し む ら の お う ち _{左京区岡崎神宮道西側 746-3303}	「語りかける花」 志村ふくみ・志村洋子の作品の特別販売と アトリエシムラの商品書籍などの販売										
	蔵 丘 洞 画 廊 中京区御池寺町東入 255-2232											
	大 雅 堂 東大路通祗園上ル 541-7388	常設展										
	梅 軒 画 廊	日本画・洋画 常設展										
	中京区烏丸四条上ル 221-3510 ポルタギャラリー華	佐藤勝彦の世界展	(日祝休廊)	ステンドグラス	10/8							
£	下京区京都駅前地下街 365-7533 星 野 画 廊	(5日臨時休廊)	200.000 1 114		グリタ三人展	-						
_	東山区神宮道三条上ル 771-3670 松 本 松 栄 堂	Mer 1, though Mr. Sin pa										
æ	中京区寺町夷川上ル 212-0626 村田画廊	常設展常設展不易流行										
(£)	左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	(火祝休廊)		竹内浩一・村田茂村		-						
(1)	ヤマモトギャラリー		貸ギャラリー	受付中								

【中京区姉小路寺町東入 231-2341 】 発行:京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内(☎222-0895) [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手許に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。 http://www.kyoto-art.net/